

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:災害用備蓄用品購入					
補助事業者名	木更津市					
実施場所	木更津市潮見一丁目1番地 潮見備蓄倉庫					
補助事業の成果の目標	<p>災害が発生した場合、行政は人命救助・水防・火災延焼防止等の活動を行うと共に、避難者を受入れ、その生活の援護を行う義務があります。</p> <p>本事業は、前年度の台風被害を教訓に、非常用発電機、非常用照明、避難所用間仕切りを購入、備蓄することで、避難所の生活環境の改善、及び停電時における避難所の開設、運営対策を図り、地域住民が安心して暮らせる環境の創設を目標としています。</p> <p>【参考指標】 木更津市住民基本台帳人口 135,400人(令和2年4月1日現在) 想定避難者数 47,748人(木更津市地域防災計画)</p>					
補助事業の内容	災害用備蓄用品(発電機・照明灯・避難所用間仕切り)					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		2年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 9,680,000	円	円	円	円 9,680,000
	交付金額	9,000,000				9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 災害用備蓄用品を購入したことで、避難所の生活環境の改善、及び停電時における避難所の開設、運営対策を図ることができたため、地域の区長や施設管理者からは、「避難所における生活環境が改善されたことで、安心して避難することができる。」、「避難所を開設する際に必要となる電力、照明の確保ができたことで、地域の住民からも安心だとの声が上がっている。」など好評をいただいているところである。 実際に使用することはなかったが、上記のとおり好評をいただいていることから、地域住民が安心して暮らせる環境が創設されていると判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 当該事業について市民に周知するために、木更津市公式ホームページ上で事業の実施状況を掲載している。また、市の広報誌、広報ささらづ4月号に掲載する。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も災害時に正常に機能することができるよう、適正な維持管理を図っていく。					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					